

小中一貫教育目標  
資質・能力に支えられた「生きる力」の育成

めざす児童生徒像

自分を磨き、社会の一員としてよりよく生きようとする児童生徒

研究主題 「主体的・対話的で深い学び」の実現と自己指導力の育成  
～「聴いて考える授業」づくりと積極的な生徒指導を通して～

育てる資質・能力

知識・技能

論理的思考力・判断力・表現力

主体性・協働性

自己指導力(自律・貢献)

郷土愛

授業改善・学びの基盤づくり

研究の重点

- 子どもの問いを生かした「聴いて考える授業」の確立に向けての授業改善
- 学びの基盤となる自己指導力の育成と生活リズムの定着

授業づくり部会

- 「考える授業」づくりに向けた取組(『学習3項目』の徹底)
- ◎反復による基礎・基本の徹底
- ◎相手の話を理解しながら聴く(発達段階に応じた「聴く」のモデル)
  - ・児童生徒の問いを基にした学習課題
  - ・深い学びをさせるための場の設定と振り返り(「宮原授業モデル」)
- タブレット等のICT機器の効果的な活用
  - ・教材や教材提示の工夫

学びの基盤づくり部会

- 児童生徒の自律性を高める取組
  - ・「生活5項目」の徹底
- 児童生徒の郷土愛と貢献の意識を高める活動
  - ・異学年グループによる体験活動・地域貢献活動
  - ・児童生徒代表者会「宮原子どもサミット」の活動
- 家庭を巻き込んだ生活習慣の確立
  - ・生活リズム改善・食育推進・体力向上・電子メディアコントロール

学校・地域・家庭の協働

地域素材・地域人材の有効活用・家庭の教育力向上